

『介護職員等処遇改善加算等』及び『福祉・介護職員等処遇改善加算等』における職場環境等の処遇改善について

「医療法人 愛生館」「社会福祉法人 愛生館」の全事業所における職場環境等の処遇改善に関する具体的な取り組みを下記の通り掲示いたします。

	職場環境要件項目	当法人の取り組み ※医療法人・社会福祉法人 共通
入職促進に向けた取組	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化 事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築 他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築 職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	朝礼やコンパ等を通じて「愛生館フィロソフィ」「使命・理念」の浸透を図っている。 グループ法人で共通の人事制度を用い、転籍・出向等による不利益が生じないようにしている。 交換研修やローテーションも盛んに行っている。 無資格者も採用を行っている。 グループ内で初任者研修を開講しており、無資格者の資格取得のサポートも行っている。 地元中学校等の職業体験を積極的に受け入れている。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動 エンabler・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度等導入 上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保	必要性に応じて外部研修の受講支援（参加費・旅費等）を行い、専門性向上を支援している。 また、介護福祉士国家資格合格者には受験料の補助を行っている。 等級制度と連動した階層別研修を実施している。 新入従業員に対して、プリセプター制度を通して指導している。 定期的に育成面談を実施し、キャリアに対する考え方のすり合わせの機会を設けている。
両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備 職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備 有給休暇が取得しやすい環境の整備 業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	事業所内保育所・独自のバビママ育児休暇（休業）制度により、仕事と子育てとの両立を支援している。 個々の希望に応じて雇用形態・勤務時間を選択することができる。 希望者は、面談を通じて判断したうえで常勤従業員に転換することができる。 連続休暇制度・季節休暇制度等、法人独自の休暇制度により、有給休暇取得を促進している。 人事部で随時相談を受けられる体制をとっている。
腰痛を含む心身の健康管理	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施 短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施 雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施 事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	特殊浴槽・電動ベッド・移乗用ロボット・電動ベッド等の導入により、腰痛対策を行っている。 定期健康診断を実施している。 管理者やリーダー層を対象にした階層別研修を通じ、雇用管理について学習する機会を設けている。 事故発生時は、事故防止マニュアルに沿って対応している。
生産性向上のための業務改善の取組	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減 高齢者の活躍（居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供）等による役割分担の明確化 5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備 業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	介護ソフト・タブレットの活用により、情報共有、記録の電子化による業務負担軽減を行っている。 インカム・見守りシステムの導入も積極的に進めている。 介護の周辺業務に携わる業務支援スタッフ（通称アクティ）として元気高齢者を雇用し、専門業務との役割分担を進めている。 整理・整頓・清潔・礼儀・規律・安全の6項目を環境整備と捉え、その方法を具体的に示し実践している。 介護ソフトの活用により、情報共有、記録の電子化による業務負担軽減を行っている。 さらなる負担軽減を目指して音声入力の導入を検討している。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善 地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施 利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供 ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	部署内ミーティング・カンファレンス等を通じて個々の気づきを業務改善やケアの改善に繋げている。 ボランティアを積極的に受け入れ、地域住民の協力を得ながら施設運営を行っている。 年間計画に沿って開催する法人内研修において、様々な知識を学習する機会を設けている。 利用者の声として、部署での朝礼や全体朝礼を通じて情報共有をしている。